科目名	SS 数学Ⅱ	理数科必修 2年次・6単位
目　標	方程式・式と証明、図形と方程式、三角関数、指数・定数関数、微分と積分、数列およびベクトルについて理解するとともに、基礎的な知識の習得を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、それらを活用する態度を育てる。	
位置づけ	SS 数学Ⅰに続いて履修する科目であり、数学Ⅰ・A の学習内容を発展・拡充させ、やや何度が上がるが、やはり高校数学の基礎となる科目である。	

■使用する教材

・教科書　NEXT 数学Ⅱ(数研出版)
　　NEXT 数学 B(数研出版)
・問題集　CONNECT 数学Ⅱ＋B(数研出版)
・参考書　新課程チャート式
　　解法と演習数学Ⅱ＋B(数研出版)
・過去の模擬試験問題　・自作プリント　ほか

■学習する単元とおおよその時期

・三角関数【４月～５月】
・指数・対数関数【６月～７月】
・方程式・式と証明【８月～９月】
・複素数と方程式【１０月～１１月】
・微分と積分【１２月～２月】
・数列【４月～６月】
・図形と方程式【７月～９月】
・ベクトル【１０月～１２月】
・統計的な推測【１月～３月】

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

授業では教科書に沿って、新しく出てくる定義や定理を理解し、問題で問われていることを正確に把握する。次の時間に進むことが予想される部分の予習をしておくことが望ましいが、授業後の復習や類題演習を十分に行うこと。

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準 A	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を十分に身につけている。 基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を十分に身につけている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を表現することが自在にできる。	数学的な活動を通して、各単元に大いに関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的根拠に基づいて判断しようとする。
評価基準 B	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。 基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を表現することができる。	数学的な活動を通して、各単元に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的根拠に基づいて判断しようとする。
評価基準 C	上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、単元テスト 小テスト 課題の提出内容	定期考査、単元テスト 授業中の発言内容	授業中の参加態度 課題の提出状況 グループ学習における積極性